

然レモ亦處女及ビ嬰兒子宮ニ於テ以上ト同一部位ニ於テ同一ノ解剖的性狀ヲ有セル疾患ヲ目撃ス(フイッシュル氏 Fiecht)。此場合ニ於テハ子宮活樹ノ明白ナル皺襞ニヨリテ知ラル、如ク強ク腫脹シ炎衝ヲ起セル頸部粘膜ノ外翻ニヨレルカ或ハ胎生狀態ニヨレルナリ、子宮外口ノ全周圍ニ於テハ胎生時ニ於テ既ニ多層扁平上皮トナルベキモノナルモ、時トシテ胎生時後ノ生活ニ於テ尙ホ長ク單層圓柱上皮層ノ存在スルコトアリ。種々ノ糜爛ハ何レノ刺戟タリトモ其影響ヲ蒙リテ生ズルモノニシテ就中過剩ノ分泌流出殊ニ淋疾球菌ノ竄入ニヨリ誘起セラル、コト多シ蓋シ糜爛ハ子宮外口ノ周圍ニ於テ扁平上皮消失シ而シテ當該部位ニ於テ圓柱上皮ヲ以テ補ハル、ナリ。

ルীগ氏及ビフハイト氏ハ以上ノ變化ニ際シテハ深部上皮細胞(基礎細胞及ビ棘狀細胞)ハ扁平上皮層ヲ生ゼザルニ至リ同時ニ延長シ且細長トナリ以テ圓柱上皮ノ性狀ヲ有スルニ至ルコトヲ證セリ。

若シ刺戟ヲ去リ分泌物ノ腐蝕作用ヲ除クトキハ圓柱上皮ハ再ビ其上層ヲナセル扁平上皮ヲ生ズル性質ヲ有スルニ至リ一度ビ消失セル扁平上

皮ハ復々原部位ニ發生ス。

破裂外膿ハ多クハ頸管加答兒ト合併スルヲ以テ破裂外膿ノ外縁ハ原頸管ノ一部タラズシテ既ニ原子宮外口ノ最モ外口ニ接近セル周圍部ヲナシ、コ、ニ過剩分泌物ハ扁平上皮ヲ驅逐シテ圓柱上皮ノ發生ニ便ナラシム。

輕症ナリト雖モ頸管ニ於テモ亦同一炎性粘膜炎變化ヲ呈ス。

此疾患ノ診斷ハ管狀子宮鏡ヲ用ユレバ容易ニ之レヲ斷定スルヲ得ベシ。主要症候ハ強度ノ粘液性膿樣分泌物(白帶下)ナルヲ以テ斯ノ如キ分泌物ノ果シテ此疾患ニ基因セルモノナルヤ否ヤヲ精密ニ試驗スルヲ要ス、此試驗ヲ行フトキハ同時ニ顯微鏡的検査ニ要スル分量ノ分泌物ヲ得ベキ便アルモノナリ。

一個ノ綿花填塞ヲグリチエリン及ビ單寧酸ヲ同量ニ混ゼルモノヲ以テ浸潤シ而シテマイエル氏子宮鏡ヲ用キテ子宮外口ニ附著セル分泌物ヲ除去セル後チ其填塞ヲ子宮外口前ニ挿入シ、二十四時間後ニ之レヲ除去シ而シテ復タマイエル氏子宮鏡殊ニ其小ナルモノヲ用キテ單寧酸填塞ヲ挿入ス、健全ナル狀態ニアリテハ如斯シコルチエリン氏診斷的填塞ハ二十四時間ヲ

經過シテ之レヲ除去スルモ全然乾燥セリト雖、定成或ハ定量の分泌ヲ來セル狀況ニアリテハ其填塞上ニ粘液或ハ膿又ハ粘性膿樣液體ノ一塊ガ種々ノ色彩ヲ呈シテ附著セルヲ見ル、若シ分泌物膿樣ナル片ハ填塞上ニ於テ綠色ヲ呈シ幾多ノ細胞ヲ含有シ且各種多數ノ細菌ヲ有シ或ハ桿狀菌アリ球菌アリ又腔細菌アリ。

此等ハ病的ノモノナルコト毫モ疑ヲ容レザルトコロナリ、填塞上ノ液體只白色粘液性ニシテ縷ヲ牽クトキハ縱令二十四時間ニ僅々二三滴以上ニ達スル片ト雖、亦病的狀態ニシテ是レ粘膜炎ノ病的分泌過剩ノ存在セリナリ、通常子宮粘膜炎ハ粘膜炎ヲ常ニ濕潤スルニ足ルノ量ヲ分泌スルニ過ギズ。

既ニ述ベシガ如キ諸種ノ原因ナラズシテ填塞或ハ填塞ヲ浸潤セル單寧酸、グリチン、溶液ガ子宮加答兒ヲ起シ膿樣或ハ膿多ノ粘液樣分泌物ヲ生ズルナラントノ説ニ就テハ特ニ一言ヲ費サレバカラズ、此説タルヤ實ニ誤謬タルヲ免レズ、是レ健全ナル子宮ニ於テ容易ニ證明シ得ルトコロナリ、若シ健全ナル子宮ニ行ヘバ二十四時間後ニ填塞ハ全然乾燥シ硬モ濕潤セズ。

適當ニ挿入セル診斷的填塞ヲ精密ニ觀察スルニ、コレニ附著セル膿塊ノ形狀ハ時トシ

テ子宮口ノ周圍ニ存在セル紅色帶ニ適合セルヲ證セラル、コトアリ、此部位ヨリハ填塞容易ニ剝離スルモ、反之腔部ノ他ノ部分及ビ腔穹窿部トハ常ニ固ク粘著スルヲ常トス、此實驗ニヨリテ只紅色帶ノミガ膿膜面ナリト結論スルヲ得ベシ、殊ニ多數ノ場合ニ於テモ亦然リトス。

療法 中最モ簡易ナルハ分泌物ヲ除去スルニアリ、而シテ是レニヨリテ常ニ病毒トシテ作用シテ益、粘膜炎ノ疾患ヲ幫助セル原因ヲ除去セザルベカラズ、此ノ目的ヲ以テ殆ド體溫ニ等シキ溫度ノ藥液ヲ用キ一日一乃至二回宛患者ヲシテ自ラ腔洗滌ヲ行ハシム、其藥液ハ防腐藥或ハ收斂劑即チ二%石炭酸、二—五%硼酸、十倍ノ「フォルマリン」ノ一食匙ヲ十一食匙ノ水ニ加ヘタルモノ、過滿俺酸加里或ハ木醋、明礬、單寧酸、硫酸亞鉛、醋酸亞鉛、醋酸アルミニウムヲ用ユレバ効多シ(第六章參照)如斯洗滌ハ番ニ分泌物ヲ除去スルノミナラズ、子宮ノ收縮ヲ促進シ、是レニヨリテ分泌物ノ排泄ヲ佳良ナラシム、且洗滌液ハ頸ノ最下部分ニ進入シ其部分ノ病的粘膜炎ニ効力ヲ及ボシ以テ治癒セシム、洗滌ノ結果ニヨリ炎性粘膜炎腫脹ハ減退シ輕度ノ外翻ハ恢復ス、又洗滌ハ他ノ方法ニ於テ作用スルモノニシテ是レニ由リテ圓柱上皮ノ子宮外口ノ周圍ニ於ケル其正常上皮經界ヲ超エテ

發生蔓延セルヲ防遏シ得ベシ、サレバ防腐藥或ハ收斂劑ヲ用キ法規ニ從ヒ行ヒタル腔洗滌ノ其効力ヲ大破裂外翻上ニ及ボシ、露出セル紅色ノ頸部粘膜ハ其邊緣ヨリ漸次ニ褪色シ遂ニ腔ノ薄蓋微色ヲ呈スルニ至レルハ、是レ常ニ實驗セルトコロナリ。

顯微鏡的標本ニヨリ管テ單層圓柱上皮或ハ極メテ菲薄ノ扁平上皮ヲ以テ被覆セラレシ面ハ肥厚セル扁平上皮層ヲ以テ被ハル、コトヲ證セラ

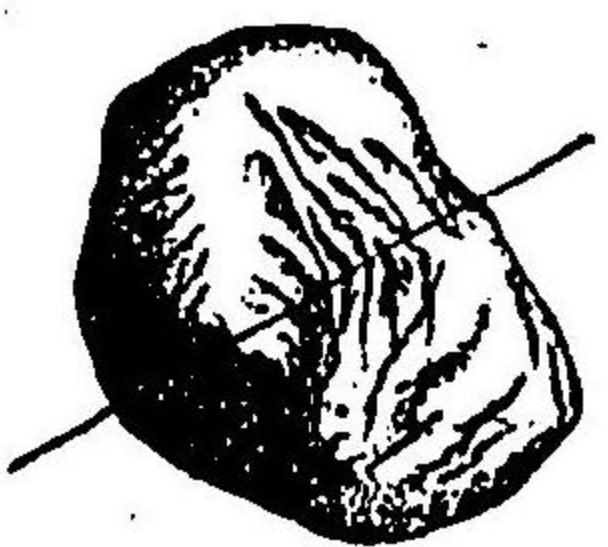
ル(第百五十六及第百五十七圖並ニ其說明ヲ參照スベシ)。洗滌ヲ長時持續スルニアラザレバ此効果ヲ收ムベカラズ、此洗滌ハ常ニ輕症ナルカ或ハ例之バ處女ノ如キモノニ於テ峻烈ナル療法ヲ施ス能ハザル場合ニ於テノミ應用スルノ價値アルモノトス。

子宮外口ノ周圍ニ存セル腺樣增殖暈ニ對シ奏効速カニシテ且原因的關係ニ基ケル療法ヲ行フニハ次ノ如クスベシ、即チ若シ糜爛ノミニシテ破裂外翻ヲ缺ケルトキハ其療法最モ簡單ニシテ此部位並ニ頸管下部ニ仙迷突ヲ烙鐵ヲ以テ燒灼スベシ、此燒灼ニヨリテ病的粘膜ノ治癒ヲ圖ルハ藥劑(格魯謨酸、硝酸、發烟硝酸)ヲ以テ腐蝕スルニ比シ其奏効速カナリ。

粘液瀝肥(ナボット氏小卵)ハ烙鐵ヲ以テ之レヲ燒灼スルカ或ハ一箇宛小刀ヲ以テ穿刺スベシ。

痲疾球菌ノ存在ヲ認メシトキハ之レヲ撲滅スル療法ヲ行フコト必要ナリ(第二十三章參照)。

第百五十六圖



處女E.ノ腔部ヲ切斷シタルモノ、先天性外翻。子宮活樹ノ主幹ノ一線ト交叉セル狀ヲ注意スベシ、交叉ノ下方ニ當リ直ニ頸管ノ入口アリ、子宮活樹ノ主幹 全部露出セル状態ハ外翻ノ爲メニ頸管ノ哆開殆ンド其高サノ半ニ達スルヲ證ス(自然大(第百五十七圖參照))。

頸部ノ破裂深部ニ達シ癒合セズ且頸部ノ粘膜外翻セルルハローゼル及ビエムメット氏手術式 Roser-Emmetsche Operation

ニ從ヒ成形術(頸成形術 Tracheloplastik)ヲ行フヲ最モ佳トス。

此手術ハ深部ニ達セル頸部ノ破裂ニシテ粘膜外翻ヲ合併セザル場合ニ於テモ亦應用スベキナリ、何トナレバ此場合ニ於テモ該破裂ノ爲メニ甚ダシキ障礙、頸部ノ過剰分泌、神經性症候、習慣性流産(オルスハウゼン氏)ヲ來セルコトアルヲ以テナリ。

消毒ヲ施セル後チ、腔部ヲ下方ニ牽引シ前後兩唇ヲ各有鉤鉗子ヲ以テ捕

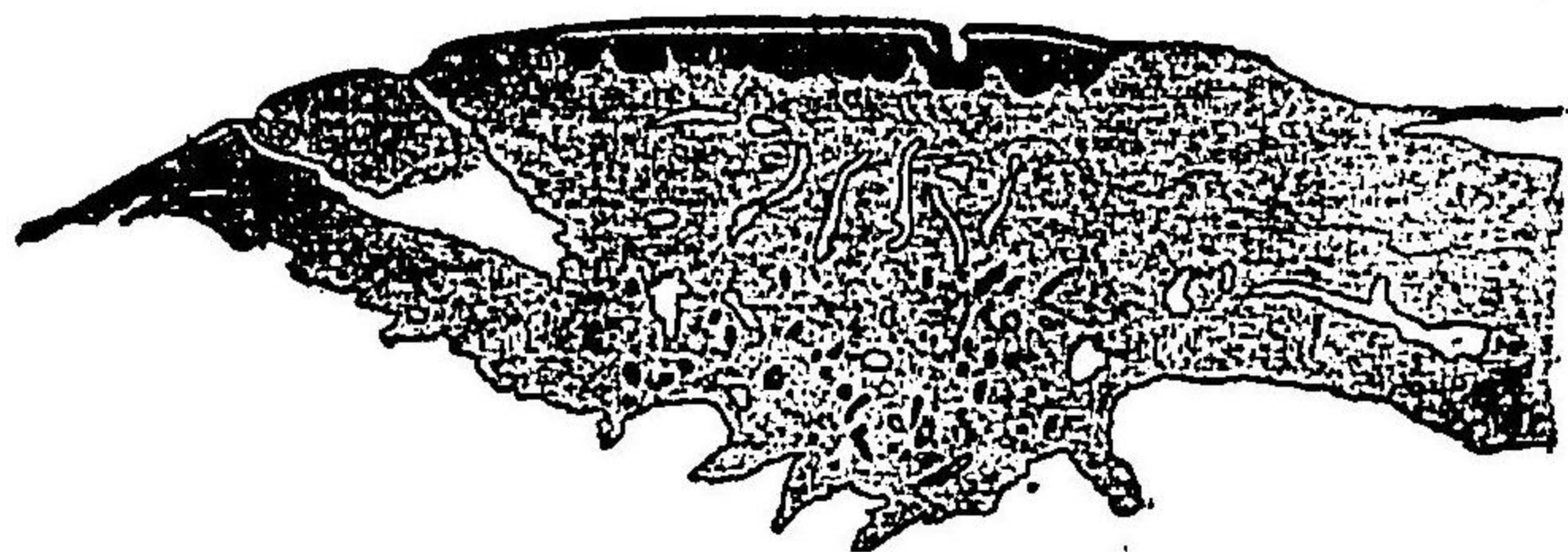
捉シ、斯クシテ陳久破裂ニ新創面ヲ造リ而シテ二三ノ結節縫合ヲ以テ結合ス、若シ二個ノ小破裂存在セルトキハ各別々ニ同法ニテ縫合ス、而シテ一側ノ深部破裂較淺キキハ之レヲ放置シ他側ニ於テ十分ニ成形術ヲ行フヲ得ベシ。

新創面ヲ造ルニハゼンゲル氏切開術ニヨラズ寧ロ剝離ニヨルヲ最モ佳トス、時トシテ著シク腫脹セル粘膜ノ適宜ノ部分ヲ除去ス、此小手術後五日間ハ患者ヲ平臥セシム、縫合ハ腸線ニヨラザルキハ絹絲或ハ金屬線ヲ以テスルヲ佳トス、拔絲ハ八日間經過後ニナスベシ、此際腔部ヲ前方ニ牽引スベカラズ。

斯ノ如クシテ高度ノ腔部畸形ヲ正常ノ形狀ニ恢復シ得ベシ、腔部切斷法 *Amputation der Portio vaginalis* ハ、只腔部ガ炎衝ノ爲メニ深部マデ侵サレ、爲メニ變形シテ醜形ヲ呈シ象鼻狀ヲナシ、ローゼル及ビエムメット氏手術ノ成效シタル場合ニアリテモ尙過大ナルヲ免レ難キ場合ニ於テノミ往々之レヲ行フ。

此手術ヲ行フニハ次ノ方法ニ從フベシ、即チ麻醉ヲ施シ消毒ヲ行ヒ前後

第五百七十七圖



處女^{〇〇〇〇}ノ顯微鏡的腔部切斷面、^{〇〇〇〇}（第五百五十六圖）。交叉線ノ方向及ビ其平面ニ於テ切斷セルモノナリ、表面ハ多細胞性扁平上皮ニテ被ハル、是レハ療法ノ結果ニシテ三週間ノ子宮洗滌持續ニヨリテ生ゼルナリ、此療法ヲ行フ初メニ當リ其附近部ノ粘膜小片ヲ剪刀ニテ除去セルモノヲ檢鏡セシニ、單層圓柱上皮ナルヲ知レリ。

レニ受胎並ニ分娩ヲ遂ゲ得ルノ望アル婦人ニアリテハ縱令此小手術ト雖モ之レヲ避ケカメテローゼル及ビエムメット氏手術ヲ以テ之レヲ補フヲ佳トス、或ハ只著シク濾胞性肥大ヲナセル頸部粘膜部分ヲ切除スルニ

兩唇ニ二個ノ有鉤鉗子ヲ掛ケテ腔部ヲ前方ニ牽引ス、必要ナル場合ニハ子宮外口ヲ尙切開シ相續テ子宮口唇ニ扁平楔狀切除ヲ行ヒ、而シテ深部ニ達スル縫合ヲ行ヒ側方ニテ時々噴出スル血管ヲ捕捉シ且、是レニ由リテ頸管粘膜ヲ腔粘膜或ハ遺留セル腔部殘餘ノ粘膜ニ縫合ス、然

止ム、縫合ハ腔部切斷法ニ於ケルト同ジ。
 然レモ此病的粘膜炎切除法モ亦頸部破裂ノ癒合セザルモノニアリテハ余
 ハ決シテローゼル及ヒエムメット氏手術ノ如ク適當ナルモノナラザルヲ
 發見セリ。
 體部內膜炎ノ共ニ存スルキハ腔部成形術ト同時ニ搔爬ヲ行ヒ又時宜ニ
 ヨリ必須ノ局部會陰成形術或ハ陰唇成形術ヲ行ヒ若シ後轉後屈ノ存在
 スルキハ適當ナル前屈手術ヲ行フベシ。

近世婦人科全書上卷 終

明治三十九年九月二十五日印刷
 明治三十九年十月五日發行

定價金壹圓八拾錢



譯述者	竹中鑑之助
譯述者	望月寬一
發行者	小立鉦四郎
印刷者	野村宗十郎
印刷所	東京市本郷區湯島切通坂町八番地 東京市京橋區築地三丁目十一番地 東京市京橋區築地二丁目十七番地

發兌元

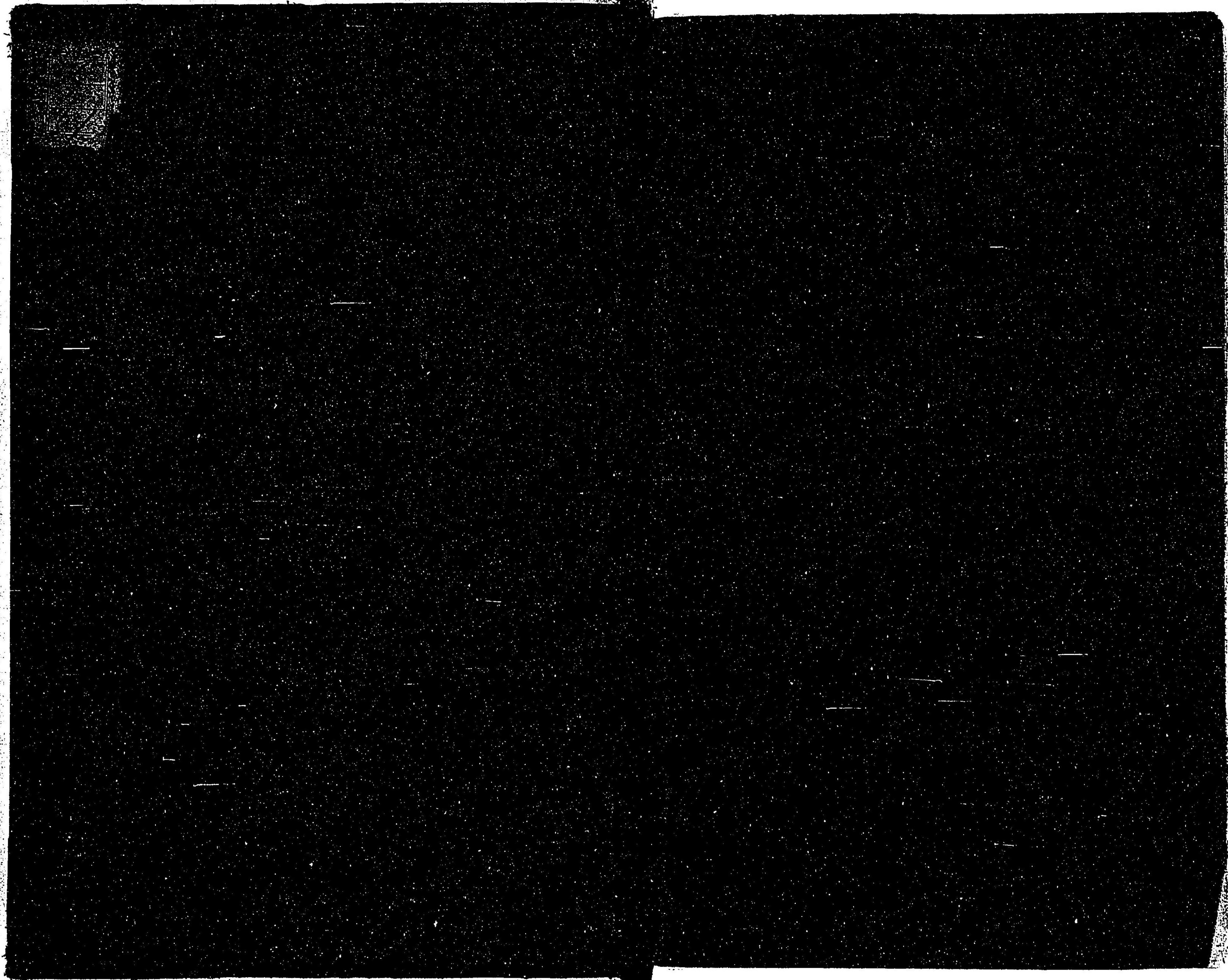
東京市本郷區湯島切通坂町八番地

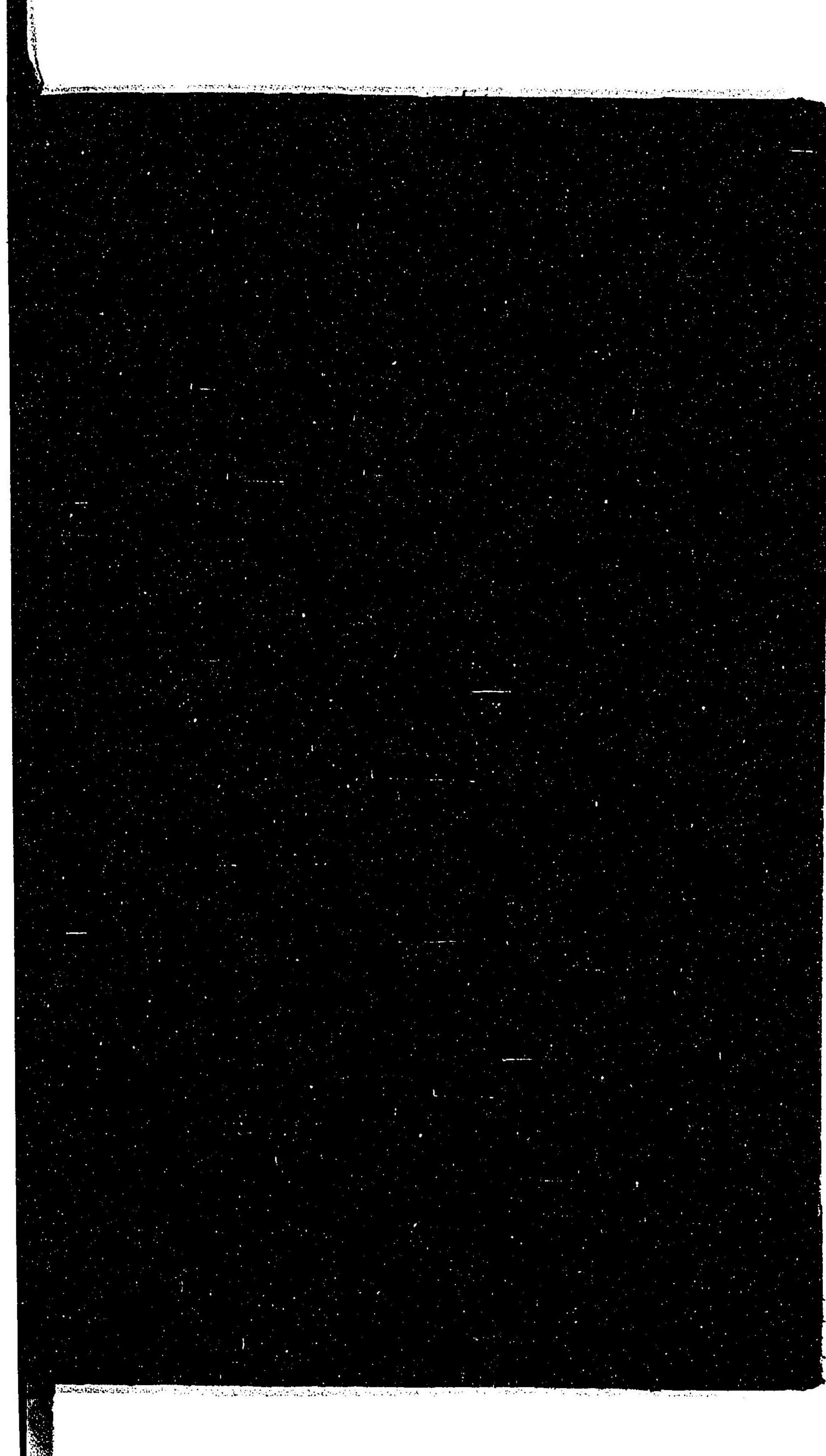
南江堂書店

電話下谷一三三〇番

肆 書 捌 賣

京都市日本橋區通三丁目	丸善書店
東京市神田區鍛冶町	朝香屋書店
東京市本郷區龍岡町	吐鳳堂書店
東京市本郷區春木町	半田屋書店
東京市本郷區春木町	南江堂支店
大阪市南區心齋橋筋	松村九兵衛
大阪市南區心齋橋筋	丸善書店
名古屋市本町三丁目	丸善書店
岡山市中之町	渡邊宗次郎
熊本市新町二丁目	長崎次郎
長崎市引地町	安中集榮堂
福岡市博多中島町	積善館支店
廣島市鹽屋町	積善館支店
仙臺市大町五丁目	藤崎祐之助
京都市寺町通二條下	若林茂一郎
京都市河原町通	大黒屋書舖





56

51

059805-001-1

56-51

近世婦人科全書

キュストネル/等著

上

M39-40

CBI-0023

